



すみれの <sup>はな</sup>花かざりのついた むらさきいろの ぼうしがありました。

それは、おばあちゃんのおきにいました。おばあちゃんはいいました。「この むらさきの ぼうしは すきだねえ。こんど

かぶって でかけてみようかね。」でも、おばあちゃんはそとでは いちども そのぼうしを かぶりませんでした。

わたしは、おばあちゃんが そのぼうしを かぶって でかけているのを いちども みたことはありません。



むぎわらぼうしも ありました。

でこぼこと しわのよった むぎわらで できていました。

それは、<sup>すいへい</sup>水兵さんの ぼうしでした。

ルーシーおばあちゃんは いいました。「これは かんかんぼうだよ。」

わたしは、おふねにのっている <sup>すいへい</sup>水兵さんたちが

そんなぼうしを かぶっているなんて

とても へんてこりんだったに ちがいないと おもいました。